

	テーマ・参加者	圏域ごとの地域課題	市全体の課題・今後の取組
<p>中央基幹相談支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病院からの退院～送り出す側の現状～ ・精神科病院からの退院～グループホーム入居における地域支援のあり方について～ ・精神科病院からの退院～独居の暮らし～ <p>参加者 (合計)</p> <p>医療関係者 : 3 保健関係者 : 0 福祉関係者 : 37 市・基幹 : 11</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・圏域だけでは、個別対応に包括的に対応するだけの社会資源が不足 ・宿泊型自立訓練事業所がない ・利用者各々の緩やかな歩みに応じられる 重層的な連携による支援体制構築が望まれる ・圏域内で、地域移行に携わる相談支援専門員の不足 	<p>【市全体の課題】</p> <p>地域移行支援※の周知が必要</p> <p>※障害者支援施設等に入所、精神科病院に入院している人に対し、住居の確保や地域における生活に移行するための活動に関する相談等の支援を行う。障害福祉サービスにおける地域相談支援に類するサービス</p>
<p>小金基幹相談支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール依存症者へのハームリダクション（減酒）アプローチについて ・自立生活援助について（実践報告及び事例検討） ・精神科病棟等に入院している精神障害者の方の地域生活に向けた普及啓発について～事例検討をとおして考察する～ <p>参加者 (合計)</p> <p>医療関係者 : 9 保健関係者 : 1 福祉関係者 : 31 市・基幹 : 10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アルコール等精神作用物質による 依存の問題を抱える方の地域移行、定着における支援のあり方について、相談支援に携わる人の理解が不足している ・ピアサポーターの活躍の場が必要 ・稼働している自立生活援助指定事業所がない ・サテライト型GHが少なく、入院中から退院後の生活（独居を含む）を見据えたアセスメントを十分に行っていない 	<p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度 令和6年3月の相談支援事業所に対する集団指導の場を活用し、地域移行支援について周知を行う <p>⇒入院中から相談支援専門員が関与し、医療機関担当者や指定一般相談支援事業所と連携しつつ、対象者が適切なタイミングで地域移行支援を活用することにより、円滑に地域生活に移行できる体制整備の土台づくりを図る</p>
<p>常盤平基幹相談支援センター</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・精神障害を有し、セルフネグレクト、支援拒否の方に対する支援の在り方について ・精神科病院からの地域移行で支援した事例を通して、精神障害について理解・啓発を考える ・精神科病院からの地域移行で支援した個別事例の検討を通じて、医療や福祉関係者が各関係機関の役割や考えを知り、相互理解を深める <p>参加者 (合計)</p> <p>医療関係者 : 11 保健関係者 : 1 福祉関係者 : 27 市・基幹 : 10 教育 : 1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・メンタルヘルス、依存症、精神障害の 予防について地域での取組が不足している ・地域移行支援について継続した周知広報が必要 ・関係機関とお互いに支援感や役割について違いを含め相互理解を深め、役割に限定されない協働を促進する必要がある ・重度精神障害や行動障害のある方について、地域定着のために必要な日常生活訓練を行う場、緊急時等に訪問可能な支援者が不足している 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和6年度 引き続き地域課題の集約・分析を行いつつ、地域移行支援対象者の共通認識および顔の見える関係づくりのために、精神科病院その他医療機関等を含めた周知を検討する